

学年のまとめと進級に向けて

こうちょう ながの ひでき
校長 長野 秀樹

はやもので、年度末の3月を迎えることとなります。

子どもたちは、学年のまとめと進級に向けて、学校生活の一日一日を大切に過ごしています。

22日(金)に実施した「6年生を送る会」は、5年生の児童委員の司会進行が素晴らしく、スムーズに運営していました。また、内容も、みんなで触れ合い、楽しめるもので、卒業する6年生にとっても、1年生から5年生にとっても、思い出深いものになりました。

その後、「お別れ遠足」となりました。あいにくの雨で、遠足予定地の状態が悪く「校内遠足」となりましたが、学年ごとに、みんなでゲームをしたり、多目的スペースでお弁当を食べたりしながら、楽しい1日を過ごしました。

ところで、学習や運動、当番活動での子供たちの様子を見聞きしていると、この1年間で学習面、生活面、体力面、精神面、社会性などいろんな面で成長しているのがわかります。

子どもは、もともと好奇心旺盛でいろいろなことに興味や関心を示します。この意欲が継続していれば、子供たちは多くのことを主体的に学び、知識を身に付け、技能を修得していくことにつながっていきます。学びには、意欲が何より大切です。努力して、練習して自分の力でできるようになったり、わかるようになったりすることの喜びや達成感を味わう機会を多く作ってあげることが教師や保護者の役割だと思えます。

日々の学校生活の中で、子供たちが努力してきたことや経験してきたことが子供たちの成長につながっています。ご家庭でも、この一年間でお子様ができるようになったことや成長したところをしっかりと見つめ、ほめてあげてほしいと思えます。

今年度も残りわずかな日数となりましたが、学校としても子供たち一人一人の成長をしっかりと見つめ、子供たちに成長の喜びと進級に向けての準備をしっかりとさせるとともに、進級・進学への意欲を持たせていきたいと考えています。